

全国小学校英語教育実践研究会 令和2年度 「わたしの英語教育実践」	6年 外国語（7月） Junior Sunshine Lesson 4 5時間/6時間扱
④ 学習評価の改善と指導の充実	福岡県大牟田市立駛馬小学校 外国語担当 鹿野 美智香

日本のいいところを伝えよう！・・・スピーチ活動の形態の工夫

日本の魅力を ALT の先生と友だちに伝えることをゴールとした学習。第5時（本時）と第6時において、スピーチ活動を行った。2時間で計画した理由は、話し手、聞き手にわけ、1時間ごとにどちらかに集中して活動を行うことで、聞き手のポイント、話し手のポイントを意識しながら、スピーチ活動を行うことができると考えたためである。



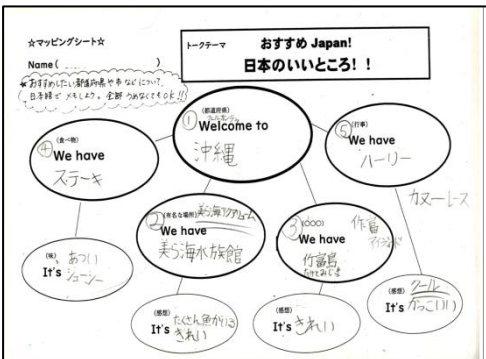
スピーチ活動は6カ所にわかれ、聞き手が回っていく形態。写真を見せながら伝える。

単元計画

Unit 4. Welcome to Japan.
おすすめ Japan! 日本のいいところ

- ①食べ物、有名な場所、行事の言い方を
知ろう。
- ②食べ物、有名な場所、行事の紹介の仕方を
知ろう。
- ③自分が伝えたいおすすめ都道府県を決め、
スピーチの準備をする。
- ④スピーチの練習をする。
- ⑤おすすめ Japan!スピーチをする。(前半)
※ルー先生
- ⑥おすすめ Japan!スピーチをする。(後半)
※英語の文字の学習

伝えたいことを整理した、「マッピングシート」を持ってスピーチをするが、何度も行ううちに、見なくとも伝えることができるようになっていた。



話す人 *No Japanese* 聞く人

OK? (たしかめ)

<p>伝わった 😊 伝わらなかった 😞</p> <p>続けてスピーチ</p> <p>ジェスチャー 言い換え</p>	<p>伝わった 😊 伝わらなかった 😞</p> <p>日本語での確かめ 「○○?」</p> <p>OK!</p> <p>Me too! 🙌</p> <p>One more time, please?</p> <p>アドバイス •もとほらるジェスチャーや言い換え •話し手(ふんばり、目線など)</p>
--	--

※感想(上の中で、特にがんばったところや友だちのよさについてくわしく)

ほかの人が前よりお見せするようになるようになっておぼたてます。ほかのひとで色々なジェスチャーを作ってとても分かりやすかったです!!

初めに聞いた友だちのスピーチを最後にもう一度聞かせた。伝え方のよくなった部分を見つけることができた。

聞き手には、「わからなかったら、わかったふりをせず、“One more time, please.”と聞く」と伝えた。写真を見せていても、伝わりにくいものが多く、児童はジェスチャーや既習表現への言い換えなどを使って、何とかして伝えようとしていた。また、相手を替えて何度もスピーチを行うので、何度も行ううちに、相手を見て、工夫をしながら、本当に伝えたい内容を伝わるまで伝えようとする姿が見られるようになった。

この形態を取り入れたことで、1回目のスピーチでは、教師の助言なしでは発表できない状態（「努力を要する状況」）と判断された児童も、最後には、助言なしで相手を見ながら伝えることができる状態（「おおむね満足できる状況」）と判断されるようになった。

指導助言・アドバイスコナー

これまでのこのコーナーでは、「言語活動を通して」子供達に力を付けることの大切さを記してきました。「言語活動」が何かということについては、ずいぶんご理解もいただけているように思います。次の段階として、「通して」の部分が必要であることを、本実践から学びたいと思います。言語活動を繰り返すだけでは、子供の発話内容は変わりません。言語活動を行った後、指導をすることで、後の言語活動での子供の発話が変わってきます。例えば、聞き手にどのような質問をしたのかを問うてみましょう。聞き手の質問が、話し手の発表内容をよりよいものにしていきます。「聞き手」が「話し手」を育てる、能動的な聞き方の指導が大切です。

(文部科学省 視学官 直山 木綿子)